



大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.  
のびゆく力、未来へ

# 会社説明会および 2013年11月期 第2四半期決算説明会資料

2013年7月5日



## 目次

I.	2013年11月期第2四半期連結決算	-----	p.3
II.	2013年11月期連結業績予想	-----	p.8
III.	成長戦略・中期事業計画	-----	p.16

# I. 2013年11月期第2四半期連結決算

## 業績概要(連結)

(百万円)

	'12/05	'13/05			
			増減	前年比	
売上高	10,774	11,245	471	104%	※1
営業利益	422	563	141	133%	※2
経常利益	450	667	217	148%	※2
当期純利益	225	447	222	199%	※3

- ※1 売上高:前年比104%  
・国内景気の回復に伴い、自動車・電子材料関連需要の増加により、増収
- ※2 営業利益、経常利益:前年比133%および148%  
・売上高の増加と円安の効果により、大幅増益
- ※3 当期純利益:前年比199%

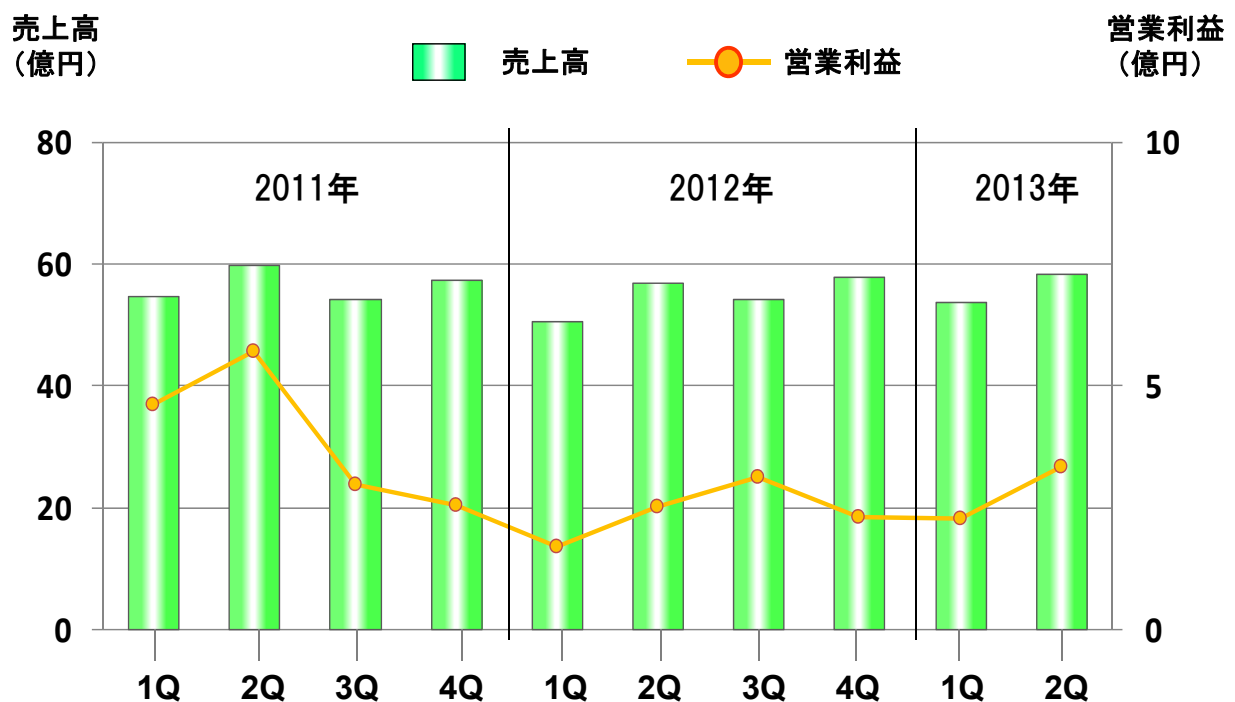
## セグメント別業績概要(連結)

(百万円)

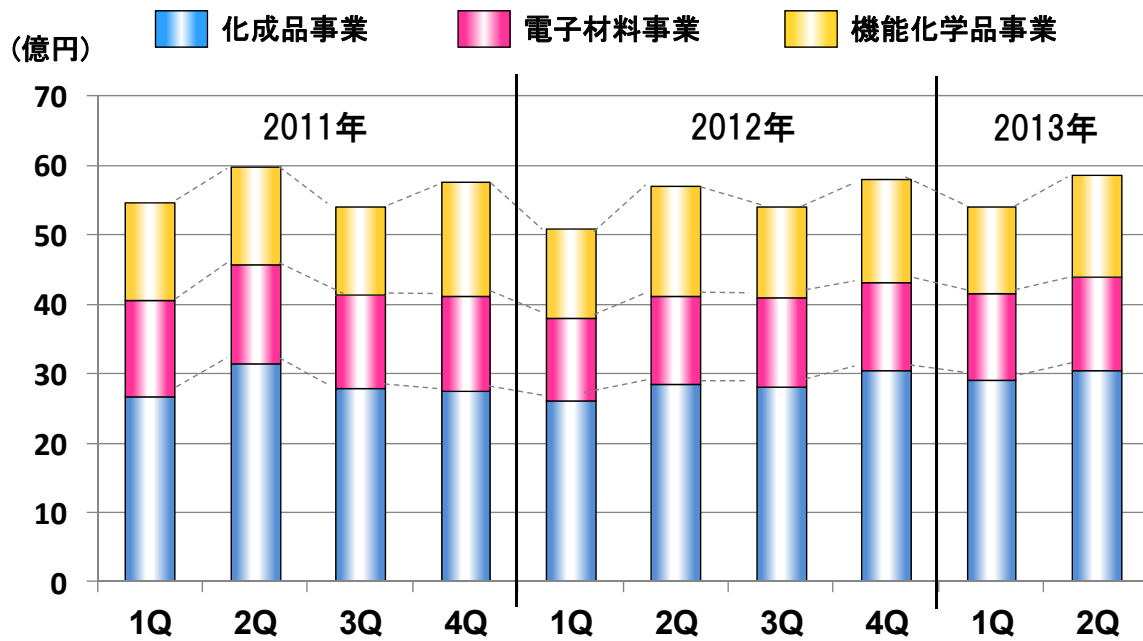
	' 12/05	' 13/05	増減	前年比
<b>売上高</b>	10,774	11,245	471	104%
化粧品事業	5,478	5,977	499	109% ※1
電子材料事業	2,457	2,585	128	105% ※2
機能化学品事業	2,857	2,708	△149	95% ※3
<b>営業利益</b>	422	563	141	133%
化粧品事業	142	143	1	101% ※1
電子材料事業	211	344	133	163% ※2
機能化学品事業	53	76	23	143% ※3

- ※1 化粧品事業、売上高・営業利益：前年比109%および101%  
・自動車、電材関連が好調で売上高は好調に推移するも、償却負担増により営業利益横ばい。
- ※2 電子材料事業、売上高・営業利益：前年比105%および163%  
・液晶パネル関連材料と半導体材料の需要回復に伴う販売増により、大幅増益。
- ※3 機能化学品事業、売上高・営業利益：前年比95%および143%  
・国内化粧品市場の低迷により売上高は減少、原材料費比率の高い受託製品の比率低下により、営業利益は増加。

## 売上高と営業利益の四半期推移



## セグメント別売上高の四半期推移



## II. 2013年11月期連結業績予想

## 2013年11月期業績予想概要(連結)

(百万円)

	'12/11 (実績)	'13/11		
			増減	前年比
売上高	21,995	22,326	331	102%
営業利益	965	1,086	121	113%
経常利益	1,081	1,193	112	110%
当期純利益	653	749	96	115%

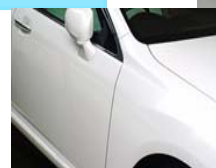
## 化成品事業<実績と予想>

**事業方針** 持続成長のための安定収益基盤事業

### 対策

営業利益率アップのために

- ① 海外市場への拡販強化
- ② 新設プラント稼働による競争力強化
- ③ 生産性向上



自動車塗料

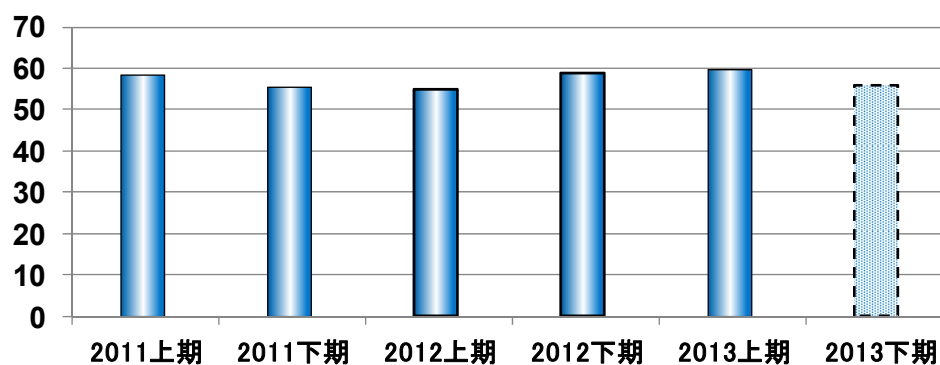


パソコン

### 実績 ・ 予想

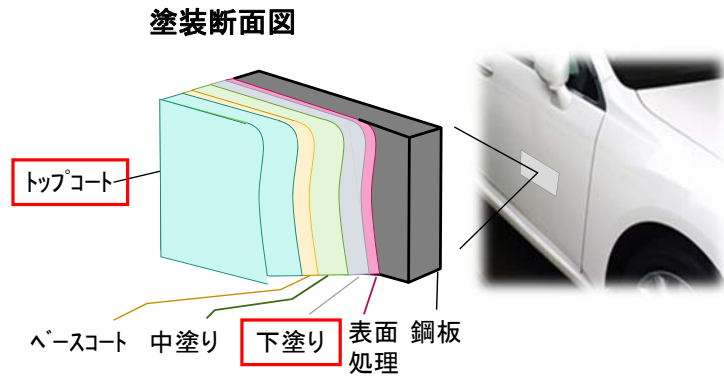
(億円)

### 売上高実績と予想



## 自動車塗料用「4-HBA」新設備の状況

・2012年秋より本格稼働開始



4-HBAは、自動車用塗料の重要材料

酒田工場へ2,500トン/年能力の製造設備を建設(投資額:20億円)

## 電子材料事業<実績と予想>

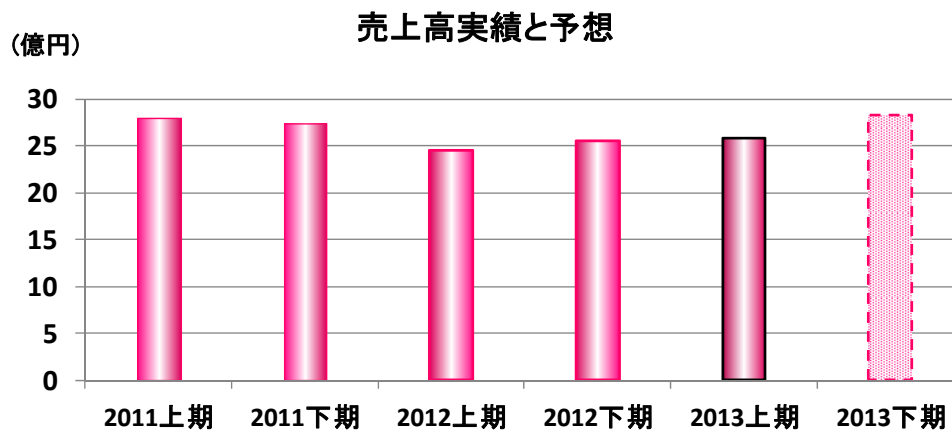
事業方針 安定した高収益性確保のための事業

対策

主力製品の海外展開によるシェア拡大  
 高精細・高微細化による優位性確保  
 次世代材料の開発に注力



実績  
・  
予想



## 機能化学品事業<実績と予想>

事業方針 次期成長分野育成ための事業

### 対策

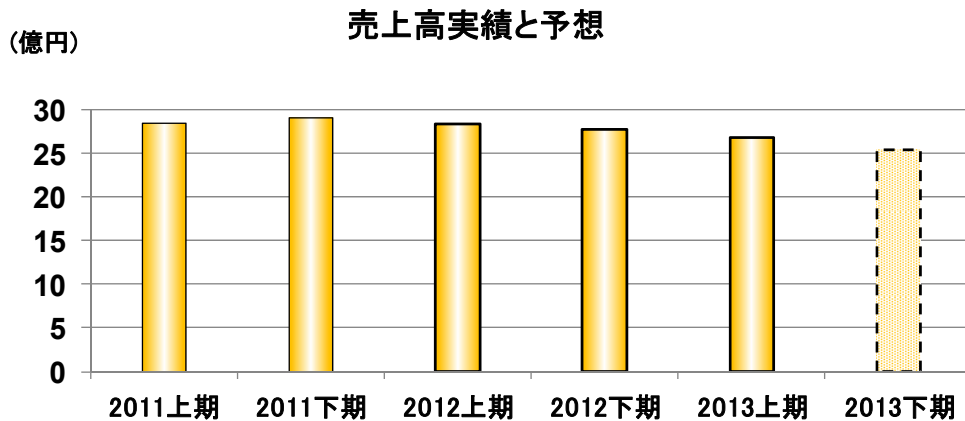
受託既存製品の見直し  
化粧品・医農薬中間体分野の市場掘り起し  
新技術強化（産学連携研究開発推進）



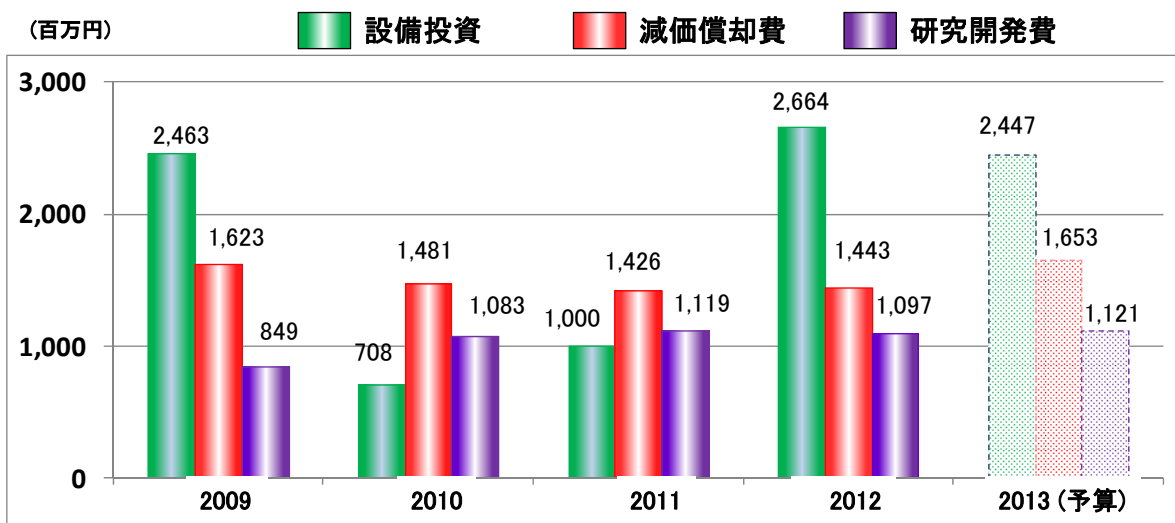
ヘアスタイリング剤用  
ポリマー

医薬中間体

### 実績 ・ 予想



## 設備投資・減価償却・研究開発費

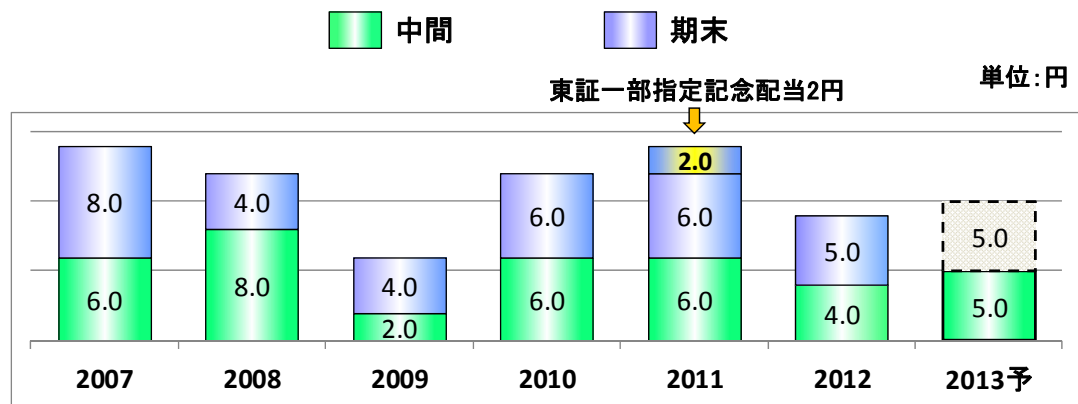


### 主な設備投資案件(2013/11月期)

- ・インフラ設備、保安設備の強化
- ・研究開発、福利厚生施設の充実
- ・大阪工場移管工事

## 一株当たり配当金

2013年度 年間配当 10円 を予定  
(中間配当5円、期末配当5円)



### 利益配分に関する基本方針

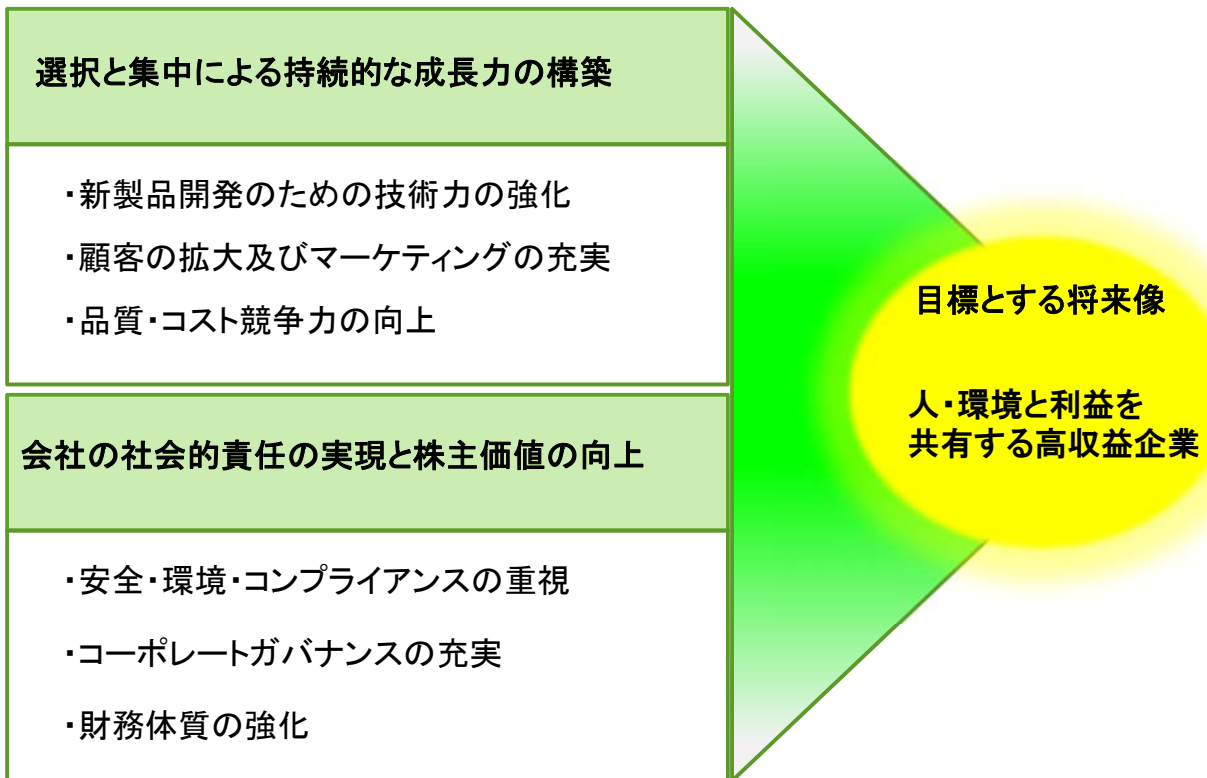
配当額:業績や事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ決定

内部留保:将来につながる新製品、新技術へ向けての研究開発投資や生産能力増強、合理化や高付加価値化へ向けての設備投資等の原資として活用

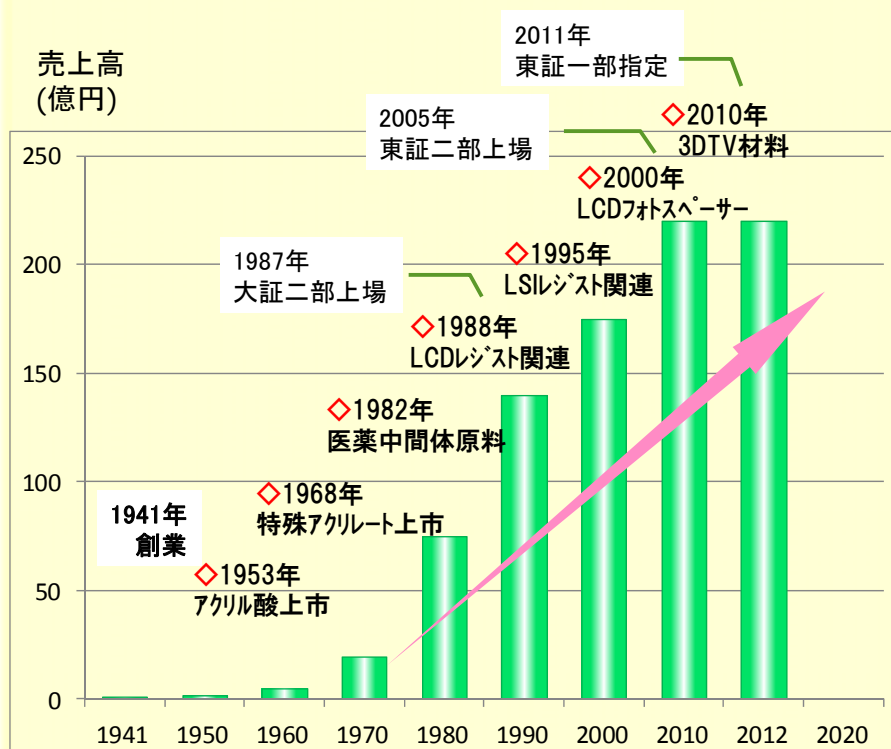
## III. 成長戦略・中期事業計画



## 成長戦略の基本軸



## 成長戦略の方向性

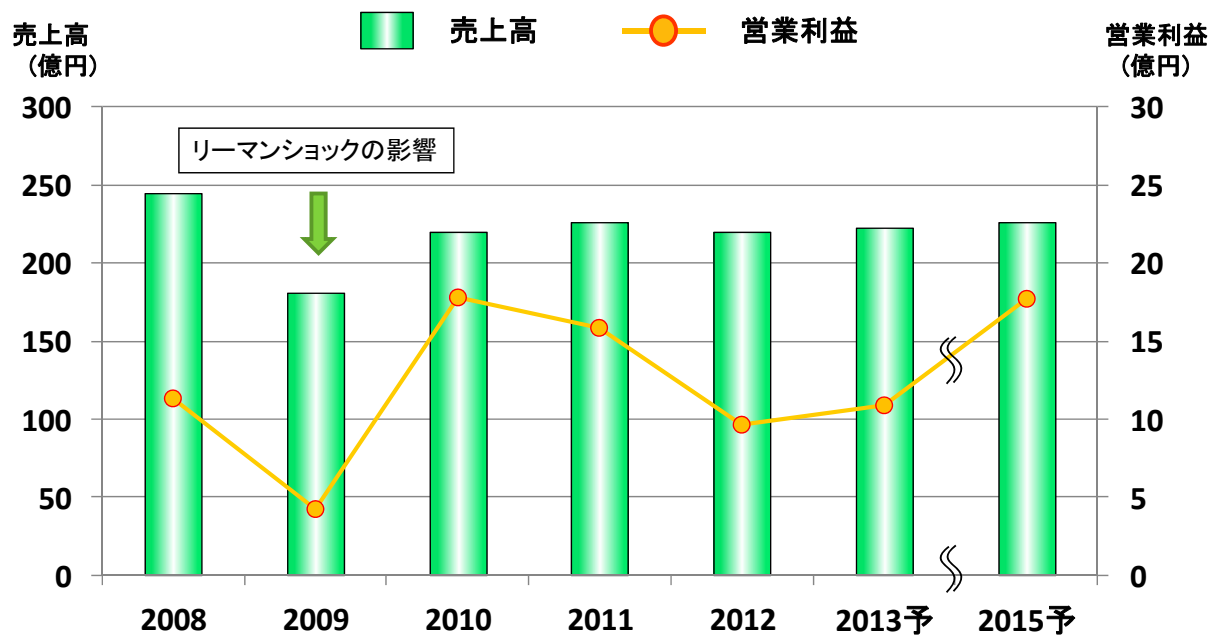


目標とする将来像

人・環境と利益を  
共有する高収益企業

- ・研究開発型企业  
(アクリル酸エステル・光硬化  
技術中心に)
- ・オンリーワン製品の充実
- ・たゆまない技術改良
- ・海外展開

## 当社グループの状況

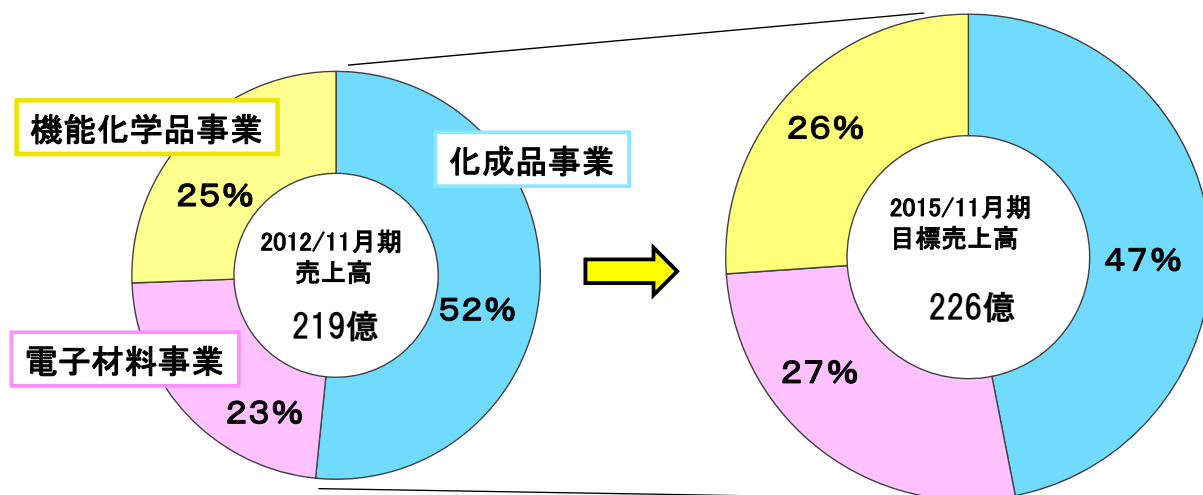


## 中期事業計画 収益目標(2015/11月期)

(百万円)

	'15/11月期 目標値		
		'12/11月期比	
売上高	22,635	21,995	103%
営業利益	1,770	965	183%
経常利益	1,868	1,081	173%
当期純利益	1,135	653	174%

## 中期事業計画 売上構成比(2015/11月期)



### 中期事業計画の方針

- ・化成品事業の商品構成の見直し
- ・電子材料事業の成長による収益の確保
- ・機能化学品事業の育成

## 中期事業計画 <設備投資・減価償却費・研究開発費>

(億円)

	過去3期計 ( '10/11 ~ '12/11 )	3期累計予想 ( '13/11 ~ '15/11 )	増減
	設備投資	43	48
減価償却費	43	46	107%
研究開発費	33	34	103%

### 主な設備投資

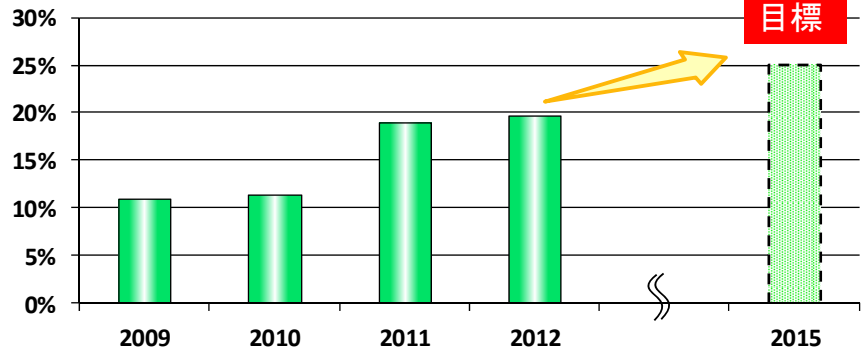
- ・大阪工場移管に伴う金沢工場・酒田工場への製造設備
- ・パイロットプラント製造設備・分析機器
- ・福利厚生設備

## 中期事業計画 海外展開



上海事務所

海外売上高比率



- ・上海事務所2012年3月開設、12月に海外事業担当役員が新規就任
- ・競争力のある製品の販売を進め、2015年度には海外売上高比率25%を目指す

## 中期事業計画 化成品事業

### 事業環境

- ・国内産業の景気停滞
- ・市場の中心はアジア

### 中長期の展開

#### <事業の強み>

- ・アクリル酸エステルの豊富なラインナップ
- ・アクリル酸エステル製造技術の研鑽

海外市場への拡販強化 (4-HBA等)  
製造拠点の集約・プロセス改善  
用途の多様化

競争力のある  
製品をより強く

新製品開発 (V#1000 V#802 STAR等)  
新規製造プロセスへ

用途開拓

基盤事業  
としての強化

## 中期事業計画 電子材料事業

### 事業環境

- ・液晶パネル、半導体を用いたデバイス生産は韓国、台湾、中国が中心
- ・光微細化プロセスがキーポイント
- ・市況による変動と短い技術サイクル

### 中長期の展開

#### <事業の強み>

- ・光微細化プロセスのキーマテリアルであるアクリル酸エステルの開発から生産を一貫して行える
- ・高度な品質管理実績

海外展開強化 マーケティング 技術サポート 他社との差別化	量的拡大	安定した 高収益確保
次世代材料開発 高精細PS材料・絶縁膜材料 光制御材料・次世代レジスト材料	市場をリード する材料	

## 中期事業計画 機能化学品事業

### 事業環境

- ・化粧品市場はファッションの多様化とアジア圏の購買力向上
- ・酢酸エステル・特殊溶剤は高機能溶剤用途にシフト

### 中長期の展開

#### <事業の強み>

- ・機能性アクリルポリマーの設計技術
- ・精密有機合成技術と精製技術

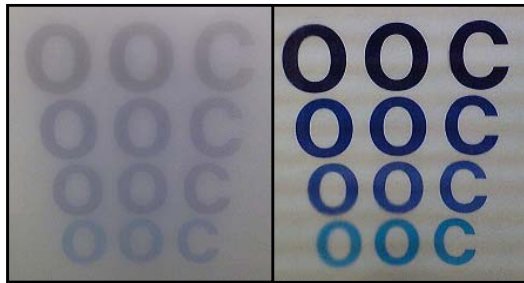
化粧品基材・医薬中間体 分野の市場掘り起し	強みを生かした 分野展開	次期成長 分野開拓
新規機能材料の開発 (防曇剤等)	新規市場開拓	

## 新規開発材料

アクリル酸エステルとポリマー化技術の融合で生まれた

### 防曇 防汚 コート剤

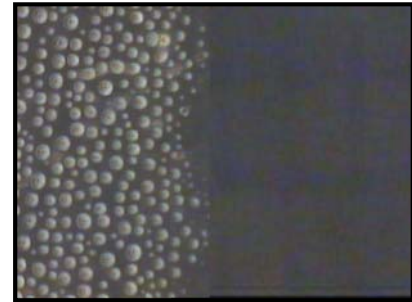
#### 【防曇性】



処理なし

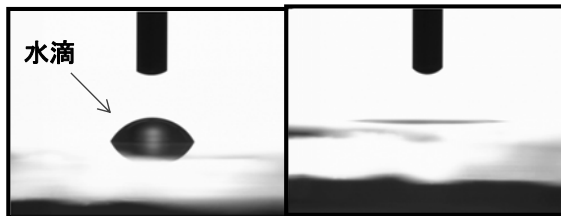
コート剤処理あり

(200倍に拡大)



処理なし

コート剤処理あり

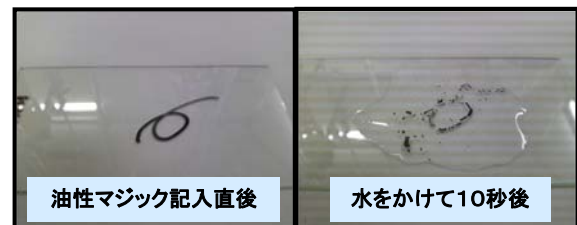


水滴

処理なし  
(接触角60度)

コート剤処理あり  
(接触角4度)

#### 【防汚性】



油性マジック記入直後

水をかけて10秒後

## 新規開発材料

アクリル酸エステルとポリマー化技術の融合で生まれた

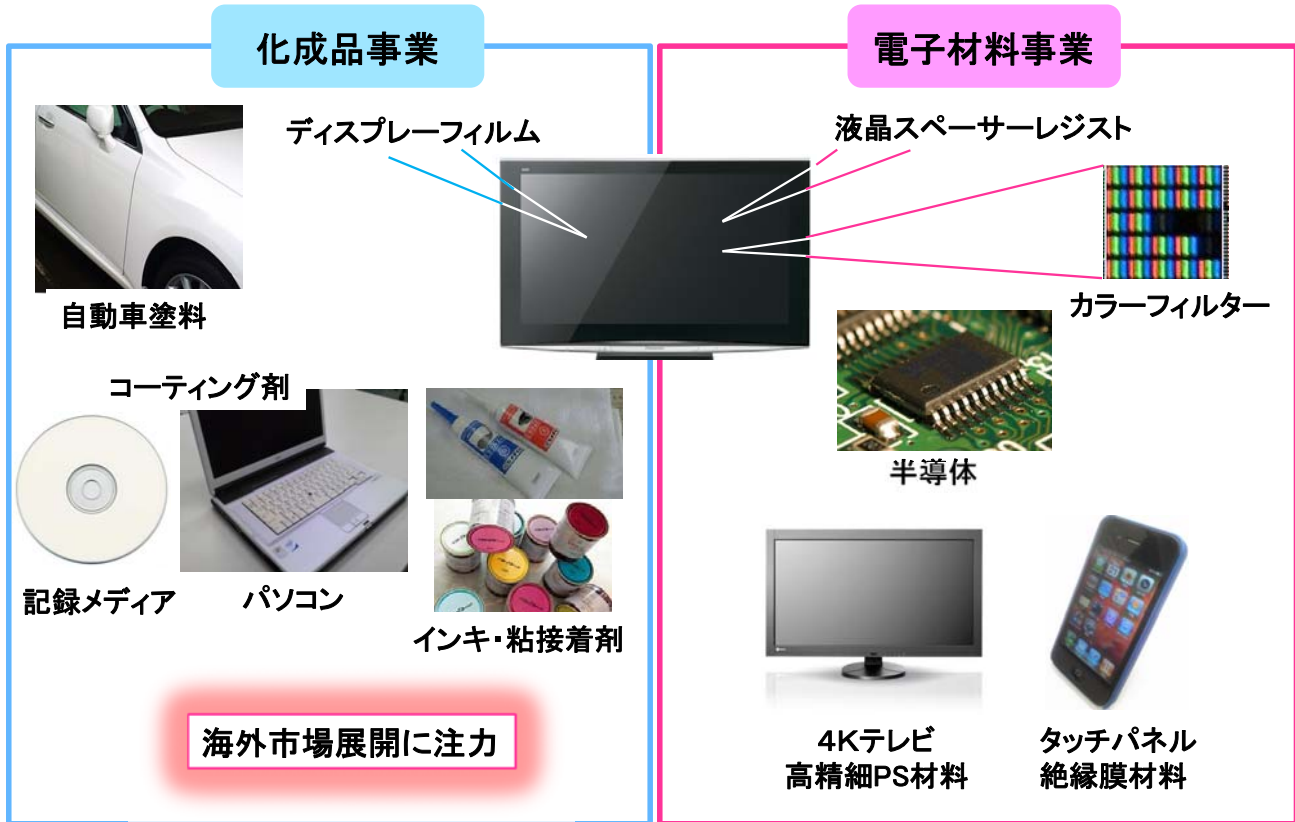
### 防曇 防汚 コート剤

第63回(平成25年度)工業技術賞(主催:一般社団法人 大阪工研協会)を受賞

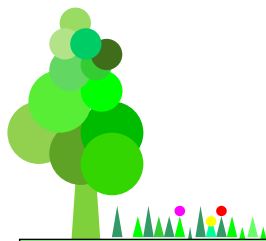


2013年5月17日

# 中期事業計画の市場・用途



# 環境保全



- ・環境負荷低減技術
- ・基盤技術拡充

持続可能社会の実現・自然環境との調和

## 重点項目

### 技術的な視点

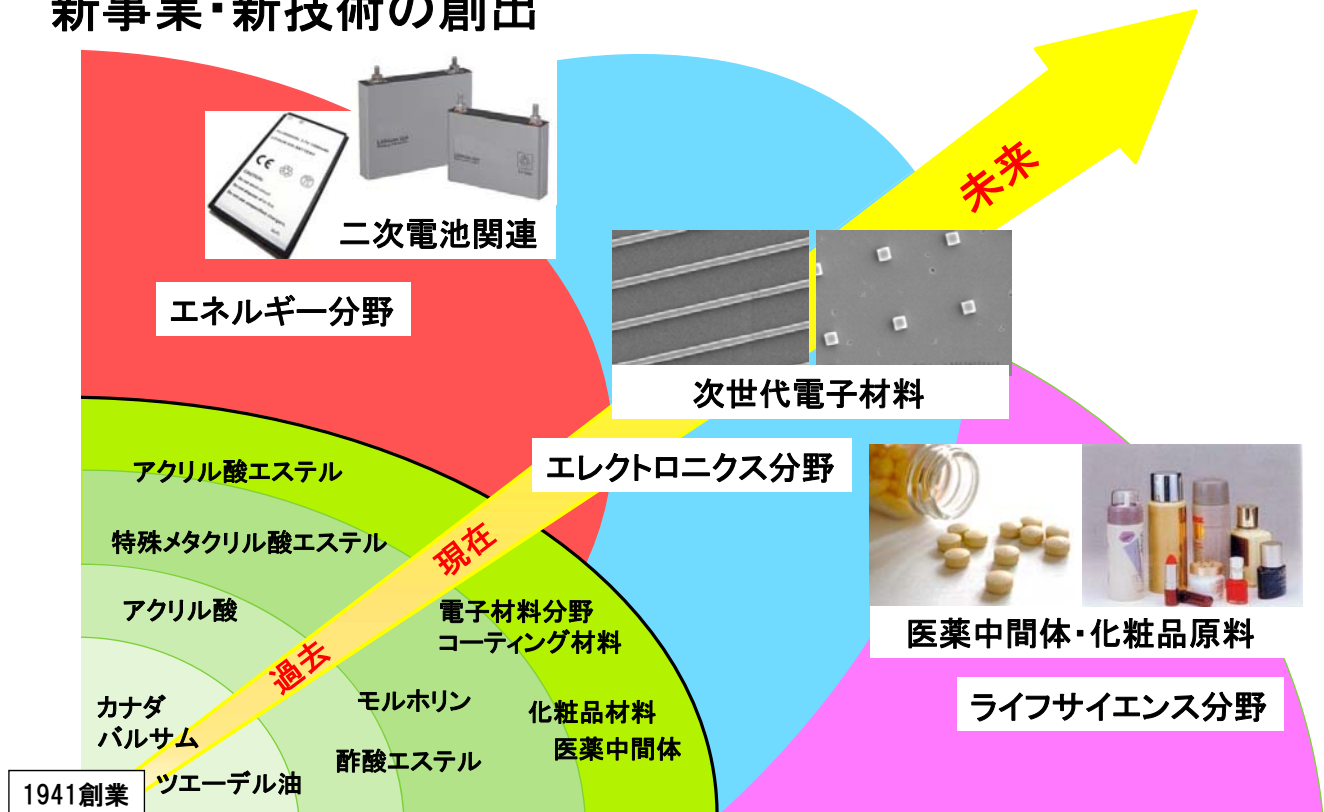
エネルギー・廃棄物量の削減  
(廃油の燃料化設備)

### 公的研究機関との 共同研究による基礎技術拡充

- ・エステル化製品の製法
- ・新規製造技術
- ・生体適合材料
- ・表示材料

これらの開発

## 新事業・新技術の創出



大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

のびゆく力、未来へ

本資料の予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の内容と異なる場合があります。したがって、いかなる確約や保証を行うものではありません。



## ご参考資料1 高精細PS材料

### フルハイビジョン対応タブレット、スマホ向け材料

高精細材料はスマホ、タブレットで進化する

画面精細度	解像度	要求PS径 ( $\mu\text{m}$ )	ステージ
スタンダード	720 × 480	タブレット:12  スマホ:9	当社既存製品
フルハイビジョン	1920 × 1080	タブレット:9  スマホ:6	当社既存製品 新規採用済み
ウルトラ ハイビジョン (4K)	3840 × 2160	タブレット:6  スマホ:4	新規採用済み 開発中

## ご参考資料2 比較連結貸借対照表

項目	'12/11末	'13/5末	増減	備考
資産合計	28,850	30,115	1,265	
流動資産	14,114	14,707	593	現金及び預金の増加 有価証券の減少
有形固定資産	10,536	10,262	△274	建設仮勘定の減少
投資その他の資産	3,924	4,905	981	投資有価証券の増加
負債合計	7,087	7,430	343	
流動負債	5,417	5,814	397	支払手形及び買掛金の増加
固定負債	1,670	1,616	△54	長期借入金の減少 繰延税金負債の増加
純資産合計	21,763	22,684	921	
少数株主持分	205	214	9	
負債純資産合計	28,850	30,115	1,265	

## ご参考資料3 キャッシュ・フロー(連結)

項目	'12/5末	'13/5末	増減	備考
営業活動によるキャッシュフロー	1,120	1,764	644	税金等調整前四半期純利益 減価償却費
投資活動によるキャッシュフロー	△1,407	△702	705	有形固定資産の取得による支出
財務活動によるキャッシュフロー	△725	△606	119	長期借入金の返済による支出 配当金の支払額
現金及び現金同等物の増減額	△1,013	454	1,467	
現金及び現金同等物の期首残高	4,678	3,080	△1,598	
現金及び現金同等物の期末残高	3,665	3,535	△130	